



# 大阪平成会、和歌山県で ファミリーフィッシング大会!からの、 大家理事プロデュースのカフェへ!



当日は厳しい暑さがありましたが、冷たい飲み物や塩分タブレットなど熱中症対策も万全で、無事に楽しい時間を過ごしました。例年は釣り終了後に解散していましたが、今年は宇野会長の事前調査のおかげで、レトロで素敵な「わかづら食堂」にて、美味しい昼食をいただくことができました。さらにデザートには、和歌浦を一望できる「Lion Resort (ライオンリゾート)」に立ち寄り、黒沢牧場の牛乳と和歌山県産フルーツを使用した絶品スイーツを堪能しました。こちらは、OGS理事でもある大家さんが運営されており、2024年8月に大阪府河内長野市の「ライオンガーデン」の2号店としてオープン

2025年8月30日(土)、雑賀崎シーパークにて平成会ファミリーフィッシング大会を開催しました。参加者9名全員が鯛やシマアジなどを釣り上げ、なかには高級魚タマクエを釣り上げた者もあり、大いに盛り上がりました。海に近い立地で自然を感じながら、笑顔あふれる一日となりました。  
**(イセン印刷株式会社 大阪平成会 青木英城)**



されたお店です。海が近く、エーゲ海サントリーニ島にきたのかと見まがう雰囲気のおしゃれなカフェで、犬同伴も可能。今後はゲストルームのオープンも予定されているそうです。  
印刷業の強みを活かし、デザイン性やブランドイメージを重視したカフェ運営を行い、モノづくりの知見と顧客対応力を融合。地域密着型の新たな価値を提供する業態へと進化されています。大阪からのアクセスも良く、心が豊かになるような非日常の贅沢なひとときでした。



9月5日、その翌日に開かれるSPACE-21幹事交流サミットに先立って、札幌市にある(株)正文舎さんをSPACE-21メンバーで訪問、視察させていただきました。同社の代表取締役、岸昌洋さんは2022年に発足した印刷革新会での活躍が知られていまして、札幌の同社工場には無人化・「自動化」が進んだデジタル印刷工場が存在します。無人化・「自動化」を進めたいきさつ、その活動の現在地を説明いただき、工場も見学させていただきました。(尼崎印刷(株) OGS理事 田治宏敬)



スペース幹事集合

### しまうまの企業たれ

大阪では最高気温が35℃前後を連日記録しているところ、札幌はやはり涼しく、夜は肌寒さを感じるほどでした。湿度が低く清々しい街を10分ほど歩いて同社の本社工場へ着きました。まず目に入ったのは、壁面に飾られた「Digital Print Factory」の文字としまうまの絵。後からうかがったところ、短期間で利益の最大化を目指す「ユニコーン企業」のアンチテーゼとして、「ゼブラ企業」が2017年にア

### オフセット印刷機を撤廃

メリカの女性企業家から提唱されました。利益の最大化だけではなく、社会過大の解決、ステークホルダーとの共存・相互利益を目指すという岸社長の経営理念を表しています。

1934年創業の同社は書籍印刷を主力業務としてきました。今でもモノクロ印刷が7割ほど、使用用紙も上質紙系が圧倒的に多いとのこと。3代目である岸社長が代表に就いた2007年当時、120人ほどの従業員がおられたそうで、もちろんオフセット印刷機で印刷していました。2013年に導入したMIS（経営情報システム）で損益を見るにつけ、オフセット印刷機の撤廃を考え始めます。2014年に策定した10カ年計画では、撤廃を経営方針の一つに挙げていたそうです。とはいえオフセット印刷の廃止とデジタル印刷工場の立ち上げは一足飛びにできるものではありません。10カ年計画を策定する前から複数台のデジタル印刷機を導入していた同社ですが、2台のRICOH Pro C8320による無人生

産ラインが稼働を始めるのは2021年、オフセット印刷機の撤廃は2024年12月のことです。

まずは全部門・全行程の業務の棚卸しを始めました。それぞれの作業をどうすればデジタル印刷に代えられるか、あるいは外注化できるかを検討し、オフセット印刷の全廃を進めてゆきました。デジタル印刷工場の立ち上げにあたっては、岸社長のみならず幹部社員をジャグラー仲間の会社に派遣、視察してどうやったらデジタル印刷の生産性を上げられるのか、そして「自動化」できるのか研究し続けていたそうです。札幌という場所柄、西日本へ行くには旅費もそれなりにかかる中、躊躇しなかつたと言います。

### 徹底した「自動化」と無人化

6台のデジタル印刷機が並ぶ1階工場を見学しました。それだけでも壮観なのですが、オペレータがいけません。機械だけが動いている印象です。同社での「自動化」無人化は、人が機械のタッチパネルを触らないということに尽きます。人が介するの用紙のセット・搬出とメンテ



正文舎外観

ランス・トラブル時のみ。

ではどうやって実現しているのでしょうか。ジョブを進行する際、MISの「PRINT SAPIENS」から書き出したPDF（Job Definition Format：印刷物の生産や工程の情報を格納した業界標準のファイルフォーマット）ファイルを、デジタル印刷機を制御するシステム「RICOH BatchBuilder」に制作データとともに投げます。すると自動面付けをして印刷を開始します。刷後は実績値をJMF（Job Messaging Format：ジョブ情報や状態を機器間でやり取りするためのフォーマット）ファイルで「PRINT SAPIENS」に返し、損益管理の情報として使われます。無人ですから夜間に印刷するということも行われています。

### どうやって稼ぐか

いくら無人化・生産性向上を努めても仕事が必要ならば機械も

# 見学記

# 札幌の地で学ぶ

## (株)正文舎の圧巻の無人工場



正文舎1F工場

人も休んでしまっただけです。価格以外で評価される競争力を身に付けることだと岸社長はおっしゃります。例えばその一つが、書籍組版で培ったバッチ処理技術をもとにしたデータ処理。学位記の印刷はデータメンテナンスを含めて顧客である大学と共有し、3月の教授会での決定をもって出力するという業務を請けておられます。個人情報でもあるので、ISO/IEC 27001に準拠した情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証も取得し、万全の、そして簡単には真似できない仕組みを構築されていることが分かります。

岸社長は印刷マーケットの縮小を引き合いに「減収は避けられない。その中できちんと利益を上げていければ社員へ昇給もできる」と話されています。2階には布やフィルムに出力できるワイドフォーマットの出力機が並んでいます。事業再構築補助金を利用して導入され、衣服への印字、壁紙や屋外ポスターへの出力ができます。同社の外壁に貼られている意匠もこれらの機械で出力されたものです。

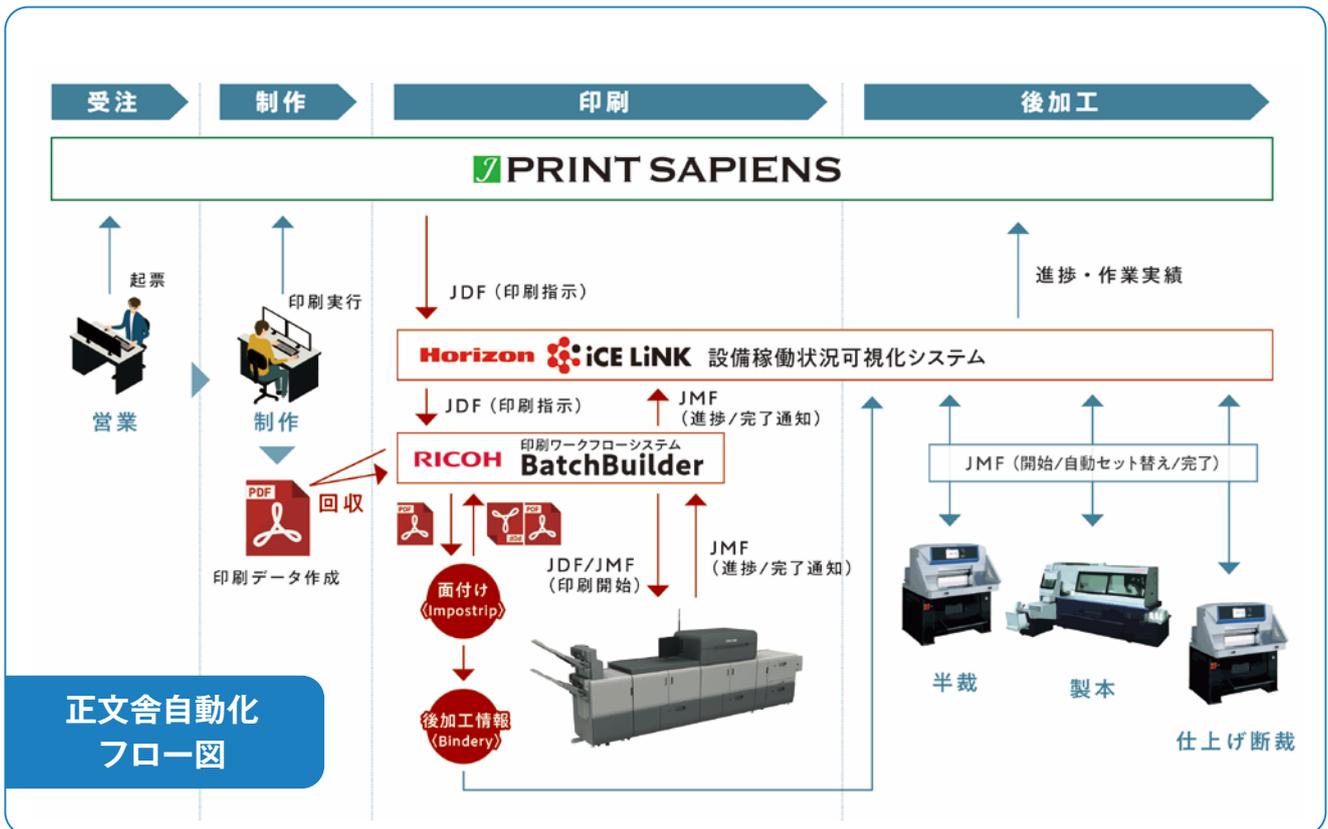
これらの機械を導入するにあたって、事業としての目算があったのか訊ねたところ、岸社長は「何もなかった。ただどうやって売っていくか、営業が考えてくれている」とのことです、これからの事業展開が楽しみです。

### ビジネスモデルをも革新する

会社は続けられる」「次の世代につなげてゆくのが社長の仕事だ」とおっしゃっていました。

今回は圧巻のデジタル印刷工場を見学させていただき、その内容を理解するだけで精一杯でした。もし機会をいただけるなら、セールス・マーケティング側の視点でのお話をうかがいたいと思います。

なお、見学の後はジーンギスカンのお店で懇親会を行いました。大変美味しかったです。



### 正文舎自動化フロー図

# 10月の活動予定 状況により中止・変更の可能性もあります

1	水	<b>今後の予定</b> 12月3日(水) OGS 役員会・忘年会 ※詳細については後日ご案内予定 2026年1月15日(木) OGS 新年互礼会 ウェスティンホテル大阪
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	OGS 役員会 18時～ JPビル8階会議室
10	金	
11	土	<b>ジャグラ文化典 近畿・大阪大会</b>   総会・文化典・記念式典・懇親会等は20日(土)   2026年6月19日(金)～22日(月)
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	第2回大阪大会全体会議 (リモート開催)

17	金	大印工70周年記念イベント
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	SPACE-21全国協議会 (茨城・土浦)
26	日	
27	月	
28	火	印関連 印刷産業人ゴルフ大会
29	水	
30	木	
31	金	

## 役員会報告

日 時：2025年9月10日(木) 18：00より  
場 所：JPビル8階会議室(一部リモート参加)  
出席者：小幡理事長、岡副理事長、木原副理事長、佐藤専務理事、  
大家理事、田治理事、東條理事、中田理事、宗次理事、  
オブザーバー：平成会 宇野会長

報告事項 その他

【ジャグラ本部】

- 8月29日(金)地域活性化委員会セミナー開催報告

【近畿地協】

- 8月29日(金)地協幹事会・説明会・懇親会 報告  
本部・地域活性化委員会によるジャグラコンパス利用説明会  
会場：天満橋ドーンセンター 参加者18名(懇親会参加者 14名)
- 今後の地協関連行事予定  
10月16日(木) 15時～ 大阪大会全体会議(リモート)  
11月7～8日 ジャグラ全国協議会  
11月25日(火) 15：30～ 地協幹事会(ZOOM開催)  
来年2月(日程・詳細未定)京都府支部担当 幹事会・勉強会他

【OGS】

- 10月25日(土)OGS ゴルフコンベン途中経過報告(現在21名)
- 賛助会懇親会 (10月29日(水)予定)について  
→本日協議の結果、今回は中止の決定  
12月3日の忘年会に多数ご参加いただく方向で検討
- 今後の役員会日程等について

- 忘年会のスケジュールその他について  
12月3日(水) 新大阪ガーデンパレス開催予定  
役員会 17：30開始  
忘年会 19：00開始(受付開始は18：30～)  
※詳細については後日決定・ご案内予定
- オンライン会議システムの導入検討について
- 来年度ビアパーティ開催に向けて検討中

【2026ジャグラ近畿・大阪大会】

- 協賛広告について
- 次回役員会までのスケジュールについて  
10月16日(木)15時より第2回全体会議(リモート開催)  
※松下地協会会長より地協幹事への参加推奨あり
- 11月7～8日の全国協議会においてアピールを予定

【青年部】

スペース21

- 9月5～6日 札幌での幹事交流サミット他報告
- 10月25日(土)土浦での全国協議会について

平成会

- 8月30日 和歌山でフィッシング&バーベキュー報告
- 9月24日開催 決算書の読解セミナー 途中報告
- 立花製本さん見学会を企画中

## 幹事交流サミット in 札幌

9月6日の午前、全国のSPACE-21幹事たちが一堂に会する幹事交流サミットが札幌駅前の貸会議室で開かれました。直前代表幹事も含め14人が出席。私、田治も大阪平成会を代表して参加いたしました。

まず10月25日に行われるSPACE-21全国協議会土浦大会に関して、企画内容、集客の進捗、各地青年部からの出席者数見込みが茨城県青嵐会・稲本さんより報告されました。例年のことですが、集客がまだ足りないという状況が危機感をもって共有されています。

次に各地青年部の状況が報告されました。東京FACEは会員数も人材も豊富であるものの、大阪平成会を含め、各地は厳しい状

況が伝えられました。特にSPACE-21幹事は会社を留守にして全国各地へ出向くこともありますので、時間的にも費用的にも自由が利く人でないと務まりにくいという問題があります。なかなかSPACE-21幹事を卒業できないと、私田治も含め苦悩されている方が多い状況が共有されました。なお、来年度はSPACE-21代表幹事の改選期であることも報告されています。

その他、SPACE-21の会則や交通費規定

に関して諸問題が討議されましたが、予定されていた3時間はあっという間に過ぎてしまい、終了となりました。SPACE-21のあり方をどうするかといった問題が持ち越しとなっており、引き続き議論されることが求められています。

